

クイックスタートガイド

(第2版/2016年3月11日)



Copyright 2016 NetJapan, Inc. 無断複写・転載を禁止します。

本ソフトウェアと付属ドキュメントは株式会社ネットジャパンに所有権および著作権があります。

ActiveImage Protector、ActiveImage Protector Server、ActiveImage Protector Desktop、ActiveImage Protector IT Pro、ActiveImage Protector for Hyper-V with SHR、ActiveImage Protector for Hyper-V Enterprise、ReZoom、ActiveImage Protector Linux、ActiveImage Protector Virtual、ActiveImage Protector Cluster、ActiveImage Protector Cloud、ActiveImage Protector Basic、ImageBoot、ImageCenter LE は株式会社ネットジャパンの商標です。

本ガイド中のその他のブランド名及び製品名は、それぞれ帰属する所有者の商標または登録商標です。

目次

1.はじめに
システム要件
2.インストール
3.アクティベーション
4.スケジュール・バックアップの設定と実行10
単体バックアップ10
スケジュールバックアップ15
5.リストア
ファイル単位のリストア21
システムリカバリーの実行24
APPENDIX

1.はじめに

ActiveImage Protector は、レガシーマシンから最新の仮想マシンまで様々な環境の Windows マシンを、 先進のディスクイメージング技術により、バックアップ / リカバリーできるツールです。

システムを稼動したままでバックアップするホットイメージング、起動前のクリーンなシステムボリュームをバック アップするコールドイメージング、変更部分だけを高速にバックアップする増分バックアップや、自社の管理ツ ールと組み合わせて自動化を行えるコマンドライン実行など、バックアップソリューションに必要な機能はすべ て装備しています。

システム要件

ActiveImage Protector 4 のシステム要件は下記のとおりです。

インストール先のマシンが、以下のシステム要件を満たしていることをご確認ください。

メモリ(RAM)	768MB 必須(1024MB 以上を推奨)
ハードディスク	650MB 以上の空き容量が必要
DVD-ROM ドライブ	製品インストール / ActiveImage Protector Boot Environment の起動に必要
サポート対象 OS	Windows 10 (x86/64)
	Windows 8 および 8.1 - RT を除くすべてのエディション(x86/64)
	Windows 7 - Starter を除くすべてのエディション(x86/64)
ネットワーク	オンライン認証のためにインターネット接続が必要

なお、制限事項等については、ActiveImage Protector 製品メディア内のリリースノートをご確認ください。

2.インストール

バックアップ対象のマシンに、ActiveImage Protector をインストールする方法を説明します。

1. マシンに製品メディアをセットすると、インストールのランチャーが表示されますので、[ActiveImage Protector のインストール]をクリックします。

ランチャーが表示されない場合は、製品メディアの setup.exe を直接実行してください。



2. [次へ]をクリックします。



3. ライセンス契約書の内容を確認します。

契約書に同意できる場合は、[このライセンス契約書に同意します]のチェックボックスをオンにしてから、 [次へ]をクリックします。



4. [プロダクト キー]を入力します。

アクティベーションも続けて自動実行する場合は、[インストール完了後、アクティベーションを行う]の チェックボックスをオンにしてから、[次へ]をクリックします。



5. セットアップタイプは[標準]を選択して[次へ]をクリックします。



6. 言語パックの[日本語]のチェックボックスがオンになっていることを確認して、[次へ]をクリックします。



7. [**インストール**]をクリックします。



8. インストールを完了したら製品メディアを取り出してから、[今すぐ再起動する]を選択して、[完了]を クリックします。

マシンが自動的に再起動します。

A	ActiveImage Protector Server セットアップ	- 🗆 X
	Ac	
Onerdapan	ActiveImage Protector Server セット てしました。 ActiveImage Protector Server のインストールを完了するには 動する必要があります。今すぐ再起動しますか? ● 今すぐ再起動する ● 後で手動で再起動する	アップ ウィザード は完 t、このコンピューターを再起
	<戻3(B) 完7(E)	キャンセル

3.アクティベーション

インストールした ActiveImage Protector に対して手動でアクティベーションを実行し、評価期限を解除します。 インストール時にアクティベーションを自動実行している場合は、この手順は不要です。

1. ActiveImage Protector を起動します。

Windows 7 以前のデスクトップ OS の場合: [スタート]→[すべてのプログラム]→[NetJapan]→[ActiveImage Protector]をクリックします。

Windows Server 8 以降のデスクトップ OS の場合:

 $[Xg-h] \rightarrow [PJ] \rightarrow [NetJapan] \rightarrow [ActiveImage Protector] & below for the set of the set o$

2. [**ヘルプ**]メニューから、[**アクティベーション**]をクリックします。



3. [プロダクトキー:]を入力してから[アクティベーション]をクリックします。

アクティペーション	×
次のコンピューターに対してア	ウティベーションを行います。
コンピューター名: server01 プロダクト キー :	
- 現在の状態 試用期限は残り[30]日です。	
	「アクティベーション」 <u>キャンセル</u>

下記のメッセージが表示されたら、アクティベーションは完了です。
 [OK]をクリックしてください。



4. スケジュール・バックアップの設定と実行

単体バックアップ

今すぐバックアップを実行する、単体バックアップの方法について説明します。

1. ActiveImage Protector を起動します。

Windows 7 以前のデスクトップOS の場合: [スタート]→[すべてのプログラム]→[NetJapan]→[ActiveImage Protector]をクリックします。

Windows Server 8 以降のデスクトップ OS の場合:

 $[Xg-h] \rightarrow [PJ] \rightarrow [NetJapan] \rightarrow [ActiveImage Protector] & below for the set of the set o$

2. [**バックアップ**]→[**今すぐバックアップ**]をクリックします。

	ActiveImage Protector	- 🗆 X
操作(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) 環境設定(<u>P</u>)	ユーティリティ(<u>U)</u> ヘルプ(<u>H</u>)	
🔝 server01 🔹	▶ 報告事項はありません	
📮 ダッシュボード	バックアップ	
👛 バックアップ		
遵 スケジュール バックアップ	バックアップ スケジュールの作成	
/ 今すぐバックアップ	定期的にバックアップを実行するスケジュールを作成します。	
🛃 復元		
🗛 イメージ管理 🔹 🕻		
*** ユーティリティ >	今すぐバックアップ	
	コンビューターのバックアップを今すぐ作成します。	
😥 D-biju 🕴 🔽		
ホスト: server01		
IP アドレス: 192.168.70.31		
ユーザー: Administrator		
PreBoot 環境: なし マウント: かし		
タスク: なし		
0.0 % 🛈 🗩		
«		_

3. バックアップ元を選択します。

ここでは例として、バックアップ元はディスク全体を選択します。 [ディスク]を選択してから、[ディスク0]のチェックボックスをオンにします。 バックアップ元の選択が完了したら、[次へ]をクリックします。

A	Active	Image Protect	tor			- 🗆 X
操作(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) 環境設定(<u>P</u>)	ユーティリティ(<u>U)</u> ヘルプ(<u>H</u>)					
server01 🔻	🕑 報告事項はありません					
ダッシュボード	今すぐバックアップ					
🟥 バックアップ	 対象の選択 		2 保存先の持	定	3 確認	
 	バックアップ対象の選択: ディスク ディスク 					
📑 復元	名前	ファイル システム	ボリューム容量	使用済み容量	関連ディスク	
🕰 イメージ管理 🔹 🕻	 ■ ティスク0 ■ システムで予約済み (:) ■ ローカル ディスク (C:) 	NTFS NTFS	350.0 MB 39.7 GB	47.7 MB 9.5 GB	ディスク0 ディスク0	
***>	📄 Basic 🙎 ダイナミック ディスク	📼 жуз-д 🚥	ロ ダイナミック ボリュー	4		
	 ダイスク0 Basic (MBR) 40.0 GB 金 使用済み: 9.5 350.0 MB 	^① 済み (:) NTFS	ローカル ディ 39.7 GB N	2/) (C.) ITFS		
ドメイン: WORKGROUP IP アドレス: 192.168.70.31						
PreBoot 環境: なし マウント: なし	1 75174					
タスク: なし 0.0 % 印 ● «				[次^ >	<u> ++>+211</u>

4. イメージファイル保存先を指定します。

ここでは保存先を「¥¥192.168.70.30¥disk」として説明します。 [フォルダーを選択]をクリックします。

A	ActiveImage Protector	_ D X
操作(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) 環境設定(<u>P</u>)	ユーティリティ(<u>U</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
🛄 server01 🔹	▶ 報告事項はありません	
ダッシュボード	今 すぐ <i>バ</i> ックアップ	
🟥 バックアップ	1 対象の選択 2 保存先の指定	3 確認
 	保存先の指定: オ タスク名:	プション: <u>< 高度な設定</u>
🕍 復元	Backup_20151209_1552 保存先: ④	 ■ 建模排除圧縮 ● 重複排除圧縮 レベル 2 (推奨)
	フォルターを選択	ー時作業フォルダー <u>c:¥windows¥temp¥</u> ② 通常圧縮
╈ ᠴ᠆ティリティ >	img_20151209_1552d00.aiv	高速 → □ /127-F保護 ④ /(27-F /(27-F)の確認 増度:
▲ □-カル ホスト: server01 ドメイン: WORKGROUP IP アドレス: 192.168.70.31 コーザー: 4 denikitator	520の優先順位 @ 最低 低 中 高	 □ 積号化 AE5 128 ビット ◆ ○ タスク終了後の追加処理 ② >ステムのシャットダウン
PreBoot 環境: なし マウント: なし タスク: なし		🗆 スケジュールの作成 🔜
0.0 %	< 戻る	次1> +17)亿儿

5. 保存先のパスを直接入力します。

下記の場所に保存先の直接パス「¥¥192.168.70.30¥disk」を入力し、Enter キーを押します。

A	フォル	ダーを選択			x
¥¥192.168.70.30¥disk					•
 □ーカル □ □ つカル □ □ Desktop □ □ □ □ カル ディスカ(C:) □ □ □ カル ディスカ(C:) ○ □ □ カル ブーカ 	名前 Desktop Documents ローカルディーー	更新日時	1x-5 917	パージョン	<u><u><u></u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>
フォルダー: ディレク	7월089			 フォルダーを 	選択 キャンセル

6. 保存先に対する認証情報を入力します。

ユーザー名は「コンピューター名¥ユーザー名」の形式で入力してください。

ここでは例として、コンピューター名を「server01」、ユーザー名を「aip」とします。

[ユーザー名:]に「server01¥aip」、[パスワード:]に設定されているパスワードを入力してから、 [検証]をクリックしてください。

A	フォルダーを選択
¥¥192.168.70.30¥disk	
□ - カル □ Desktop □ Documents □ Documents	ユーザー名: server01¥aip パスワード: ●●● 192.168.70.30 の認証情報を入力してください 検証 キャンセル
- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	名前 、 更新日時 イメージ タイプ バージョン サイズ ■ Desktop ■ Documents ■ ローカル ディ・・・
フォルダー:	11/10み ・ フォルターを選択 キャンセル

7. 保存先を確認します。

保存先のフォルダーが選択されていることを確認してから[フォルダーを選択]をクリックします。

A	フォル	ターを選択			x
¥¥192.168.70.30¥disk					•
 □ ーカル □ □ ーカル □ □ Desktop □ □ ーカル ディスク(C:) □ □ ーカル ディスク(C:) □ □ → ル ディスク(C:	2前 •	更新日時	イメージ タイプ	バージョン	<u>サイズ</u>
フォルター: disk	ኮሀወን			• דאוגד	を選択 キャンセル

8. ファイル名を入力します。

ここでは例として、イメージファイル名は「backup01」とします。(拡張子は自動設定されます) [ファイル名:]に「backup01」と入力して、[次へ]をクリックします。

Ai	ActiveImage Protector	_ _ X
操作(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) 環境設定(<u>P</u>)	ユーティリティ(旦) ヘルプ(圧)	
🗽 server01 🔹	▶ 報告事項はありません	
ダッシュボード	今すぐバックアップ	
📫 バックアップ	1 対象の選択 2 保存先の指定	3 確認
 スケジュール バックアップ ようすくバックアップ ようすくバックアップ ようすくバックアップ よう イメージ管理 、 ユーティリティ	保存先の指定: タスク名: Backup_20151209_1552 保存先: ② ¥¥192.168.70.30¥disk フォルダーを選択 アイル名: ② backup01d00.aiv U = 5.75 / 10.65	オプション: < <p>▲ 高度な設定 ● 重複排除圧縮 レベル 2 (推奨) 一時作菓フル/ダー ⑧ こ:¥windows¥temp¥ ● 通常圧縮 高速 ◎ 1/27-F保護 ⑧ //27-F <</p>
KAト: server01 ドメイン: WORKGROUP IP アドレス: 192.168.70.31 ユーザー: Administrator PreBoot 環境: なし マウント: なし タスク: なし 0.0 % ① ●	92,500 優先順位 @ 最低 低 中 高	 場度: □ 理号化: ▲E5 128 ビット ▼ クスク終了後の追加処理 ② ジステムのシャットダウン □ スケジュールの作成 ■

9. バックアップの内容が表示されます。

確認してから[完了]をクリックすると、バックアップが開始されます。

4 操作(O) 表示(V) 環境設定(P)	ActiveImage Pr	otector	
server01	● 報告事項はありません		
ダッシュボード	今すぐバックアップ		
📫 パックアップ	1 対象の選択	2 保存先の指定	3 確認
 恩 スケジュール バックアップ 会すぐバックアップ ペー 	 パックアップ対象: ノビックアップ タイプ: ノビックアップ対象: 	デイスク 0	
▲ 復元 ▲ イメージ管理 >	保存先: ファイル名: 保存先: コメント:	backup01_d00.aiv ¥¥192.168.70.30¥disk なし	
·☆ - J1921 ·	 イブション: タスク名: 圧幅設定: パスワード: タスクの最先順位: 	Backup_20151209_1552 重複排験圧縮(レベル 2) なし 中	
木入ト: server01 ドメイン: WORKGROUP IP アドレス: 192.168.70.31 ユーザー: Administrator PreBoot 環境: なし マウント: なし	ディスク メタデータのバックアップ アクセス不能ポリュームを開税: ネットワーク共有フォルダーへの接続維持:	有效 有效 無効	
タスク: なし 0.0 % ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	エクスポート	< 戻る	<u> 元了 キャンセル</u>

10. バックアップが開始されると、バックアップタスクが表示されます。 進捗が 100%になるとバックアップは完了します。



スケジュールバックアップ

定期的にバックアップを実行する、スケジュールバックアップの方法について説明します。

1. ActiveImage Protector を起動します。

Windows 7 以前のデスクトップOS の場合:

Windows Server 8 以降のデスクトップ OS の場合:

 $[Xg-h] \rightarrow [PJ] \rightarrow [NetJapan] \rightarrow [ActiveImage Protector] & below for the set of the set o$

2. [バックアップ]→[バックアップ スケジュールの作成]をクリックします。



3. バックアップ元を選択します。

ここでは例として、バックアップ元はディスク全体を選択します。 [ディスク]を選択してから、[ディスク0]のチェックボックスをオンにします。 バックアップ元の選択が完了したら、[次へ]をクリックします。

A	ActiveImage Protector
操作 表示 環境設定	ユーティリティ ヘルプ
i server01 🔻	👂 報告事項はありません
ダッシュボード	スケラユール バックアップ
🚔 バックアップ	1 対象の選択 2 保存先の指定 3 スケジュール 4 確認
 	バックアップ対象の選択: ◎ ディスク ◎ ポリューム
🚔 復元	名前 ファイルシステム ポリューム容量 使用済み容量 関連ディスク
🕰 イメージ管理 🔉	■ マ ニュティスク0 ー ロー システムで予約済み (:) NTFS 350.0 MB 47.7 MB ディスク0 ロー ローカル ディスク (C:) NTFS 39.7 GB 9.5 GB ディスク0
* ユーティリティ >	Basic タイナミックティスク ロ ポリューム ロ ダイナミックポリューム
	マ テイスクロ Basic (MBR) 40.0 GB システムご平和演み(_) G-かりテイスク(E) 39.7 GB NTFS 39.7 GB
🚂 🗆 – カル 🕴 🗹	
ホスト: server01 ドメイン: WORKGROUP IP アドレス: 192.168.70.31 ユーザー: Administrator	
PreBoot 環境: なし マウント・ わし	U المجامر ال
タスク: なし 0.0 % ① ●	<u>**>\till</u>

4. イメージファイル保存先を指定します。

ここでは保存先を「¥¥192.168.70.30¥disk」として説明します。 [フォルダーを選択]をクリックします。

	Ad	ctiveImage Protector		_ D X
操作(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) 環境設定(<u>P</u>)	ユーティリティ(<u>U)</u> ヘルプ(<u>H</u>)			
server01 🔻	🜔 報告事項はありません			
ダッシュボード	スケジュール バックアップ			
🚔 バックアップ	1 対象の選択	2 保存先の指定	3 スケジュール	4 確認
 スクジュール バックアップ 、 インジュール バックアップ 、 マーティリティ 	保存先の指定: タスク名: Backup_20151210_1400 保存先: @ 77イル名: @ img_20151210_1406 [2] またかたことの一	5 7711 7~11.073117E	オブ ターを選択 _d00.aiv	ション: < 三 圧縮 ② ● 延線排除圧縮 ● 近後非除圧縮 ● 小行作業プォルター ③ こさWindowsitemp¥ ● 通常圧縮 高速 ● 1/127-ド保護 ③ 1/127-ド保護 ④
L □ -カル ホスト: server01 ドメイン: WORKGROUP IP アドレス: 192.168.70.31 ユーザー: Administrator Preboot 環境: なし マウント: なし タスク: なし 0.0 % ① ●			< 戻る	パスワードの確認 強度: □ 塔考社: AES 128 ビット ・ ズハ > <u>キャンセル</u>

5. 保存先のパスを直接入力します。

下記の場所に保存先の直接パス「¥¥192.168.70.30¥disk」を入力し、Enter キーを押します。

A	フォル	ダーを選択			×
¥¥192,168,70.30¥disk					
 □ 一カル □ Desktop □ Documents □ □ ーカル ディスク(C:) □ ○ □ ーカル ディスク(C:) 	名前 Desktop Documents ローカルディーー	更新日時	1x-5 917	ベモジーン	<u><u><u></u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>
フォルダー: ディレク	ND7			 フォルダーを 	選択 キャンセル

6. 保存先に対する認証情報を入力します。

ユーザー名は「コンピューター名¥ユーザー名」の形式で入力してください。 ここでは例として、コンピューター名を「server01」、ユーザー名を「aip」とします。 [**ユーザー名**:]に「server01¥aip」、[パスワード:]に設定されているパスワードを入力してから、 [検証]をクリックしてください。

A	フォルダーを選択	x
¥¥192.168.70.30¥disk		*
□ − カル □ − カル □ Desktop □ Documents □ Documents	ユーザー名: server01¥aip パスワード: ●●● 192.168.70.30 の認証情報を入力してください 検証 キャンセル	L
	名前 🗸 更新日時 イメージタイプ バージョン サイズ	
	■ Documents ■ ローカル デイ・・・	
フォルダー:	クトリのみ ・ フォルダーを選択 キャンセ	<u>211</u>

過去に指定済みの保存先を再指定した場合は、認証情報が記録されているため、手順5、手順6の 画面は表示されません。 7. 保存先を確認します。

保存先のフォルダーが選択されていることを確認してから[フォルダーを選択]をクリックします。

A	フォノ	レダーを選択			x
¥¥192.168.70.30¥disk					•
 □ーカル □ーカル □ Documents □ーカル ディスク(C:) □・カル ディスク(C:) ● ペークション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・	2前 •	更新日時	1x-5 917	バージョン	<u><u><u><u></u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u></u>
フォルター: disk	NDD7			• フォルダーを	選択 キャンセル

8. タスク名とファイル名を入力します。

ここでは例として、タスク名は「schedule01」、イメージファイル名は「backup01」とします。 (拡張子は自動設定されます)

[タスク名:]に「schedule01」、[ファイル名:]に「backup01」と入力して、[次へ]をクリックします。

A	ActiveImage Protector	_ _ X
操作(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) 環境設定(<u>P</u>)	ユーティリティ(<u>U</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
🔛 server01 🛛 🔻	🝺 報告事項はありません	
ダッシュボード	スケジュール バックアップ	
🟥 バックアップ	1 対象の選択 2 保存先の指定 3 スケジュ	ール 4 確認
 	保存先の指定: タスク名: 「Schedule01」 保存先: ④ ¥¥192.168.70.30¥disk フォルターを選択 フィル名: ④ 」 backup01	オプション: <u>く高度な設定</u> 「「「「」」」 「「」」 「」 」 「 「 「」 「」 「」 「 「」 「 「 「」 「」 「
		強度:
0.0 % 🕕 🕷	< 戻る	次へ > キャンセル

- 9. バックアップ実行のタイミングを設定します。
 - ここでは例として、下記の設定で週単位のバックアップスケジュールを作成します。
 - ・ベースバックアップ:週単位
 - ・増分バックアップ:週単位
 - ・ベースバックアップ:日曜日の午前1時
 - ・ 増分バックアップ:月曜日から金曜日までの午前1時

Backup_20160108_1651 有効化	治時: 2016/01/08 17:01 ~ 2017/01/08 17:01 ~ 刻期限
ベース 週半位 ● 日曜日 月日曜日 火4曜日 水4曜日 木4曜日 金4曜日 土4曜日 実行時間: 01:00 重	増分 週単位 □ 日曜日 月1曜日 火日曜日 水日曜日 金日曜日 土日曜日 ◎ 一定間隔で複数回実行 開始時刻: ② きご時刻 実行間隔: ○ 7:00 電 21:00 電 5 電 分ごと ◆ ◎ 一回のみ実行: 01:00 〒
	<u>ОК</u> <u>+р>тл</u>

すべての項目を設定したら、[OK]をクリックします。

10. スケジュールのオプションを設定します。

[保有ポリシーを有効にする]のチェックボックスをオンにして、[保有するバックアップイメージの世代数:] を「3」に設定します。(この設定でイメージの保存先に3世代分のイメージが残ります) オプションの設定が完了したら[次へ]をクリックします。

A	ActiveImage Protector	x
操作(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) 環境設定(<u>P</u>)	ユ−ディリティ(<u>U</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
🛄 server01 🔻	👂 報告事項はありません	
🌉 ダッシュボード	גלישה-א וואלדאיל	
🚢 バックアップ	1 対象の選択 2 保存先の指定 3 スケジュール 4 確認	
 	有効化日時: 2015/12/10 14:46	
💒 復元	ペース: 遅単位:日曜日、01:00	
🗛 イメージ管理 🔹 🗲	增分: 運単位:月曜日~金曜日、01:00	
*********	スケジュールを補集 🗇	_
	□ システムのシャットダウン/再起動時に実行	
レーカル よこ ホスト: server01 ドメイン: WORKGROUP IP アドレス: 192.168.70.31 ユーザー: Administrator PreBoot 環境: なし マウント: なし タスク: なし	オプション: マリコンサイル イメージを有効にする ② タスクの塩先順位 ③ マ 保有水りシーを有効にする ③ アパ(ペース): 保有が良かとなった世代のイメージ ファイルを全て削除 最低 中 高 ● 保有対象かとなった世代のパメージ ファイルを削除 屋低 中 高 ■ E メール通知を行う タスク失敗時 ・	
0.0 %	< 戻る 次ヘ > キャンセ	216

11. バックアップの内容が表示されます。

確認してから[完了]をクリックすると、バックアップのスケジュールが作成されます。

A	ActiveImage	Protector	_ _ X
操作(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) 環境設定(<u>P</u>)	ユーティリティ(U) ヘルプ(H)		
	スケジュール バックアップ		
📫 バックアップ	1 対象の選択 2 保存	字先の指定 3 スケジュール	4 確認
 	 ・バックアップ対象: バックアップ タイブ: バックアップ対象: 	ディスク 0	
▲ 復元 ▲ イメージ管理 >	保存先: ファイル名: 保存先:	backup01_d00.aiv ¥¥192.168.70.30¥disk	
• <u>-</u>	コンパ・ イズ オブション: タスク名: 圧縮設定: パスワード: ディスカメタテータのパックアップ	schedule01 重複排除圧縮 (レベル 2) なし 有効	
本スト: server01 ドメイン: WORKGROUP IP アドレス: 192.168.70.31 ユーザー: Administrator PreBoot 環境: なし マシント: なし	アクセス不能ポリュームを無視: ネットワーク共有フォルダーへの接続維制	有効 音: 無効 2015/12/10 14:46	v
タスク: なし 0.0 % ① ① ①	[エクスポート		完了

12. 作成済みのスケジュールは[ダッシュボード]→[スケジュール]で確認できます。 指定した時刻になると、スケジュールバックアップが実行されます。



ファイル単位のリストア

Windows のエクスプローラーから ActiveImage Protectorのイメージファイルを直接開いて、ファイル単位のリ ストアを実行します。 以下の手順を行ってください。

- 1. イメージファイルを参照するため、エクスプローラーを起動します。
- 2. イメージファイルの保存先を開きます。

ここでは例として、「¥¥192.168.70.30¥disk」にあるイメージファイルを開きます。 エクスプローラーのアドレス欄に「¥¥192.168.70.30¥disk」を入力してから Enter キーを押します。

💻 🕑 📗 👳 PC	- 🗆 X
ファイル コンピューター 表示	~ 🕜
← → ~ ↑ 🔄 ¥¥192.168.70.30¥disk	م
 * クイック アクセス > フォルダー (6) * デスクトップ * ダウンロード ※ ダウンロード ※ ダウンロード ※ ダウンロード ※ グラケャ ※ どフチャ ※ ビブオ ※ ミュージック OneDrive PC * マットワーク 	
9.個の項目	8== 📰

(ユーザー認証が求められた場合は、保存先にアクセス可能なユーザー名とパスワードを入力してくださ ι·。)

3. イメージファイルをダブルクリックして開きます。

(Windows セキュリティの画面が表示された場合は[OK]をクリックしてください。)

<mark>- ♪ </mark> = disk ファイル ホール #	右 丰元		– 🗆 X
< ↑ <u>-</u> →	ネットワーク > 192.168.70.30 > disk >	✓ ບ disk01	_{食索} , 0
クイック アクセス	名前	更新日時 種類	サイズ
デスクトップ	* Server01@backup01_d00_00001	2016/01/08 17:09 AIV File	5,809,792 KB
👃 ダウンロード	*		
■ ドキュメント	*		
■ ピクチャ	*		
📕 ビデオ			
🎝 ミュージック			
a OneDrive			
PC			
シネットワーク			
1個の項目 1個の項目	目を選択 5.54 GB		1153

4. [Disk 0 Volume 1]をダブルクリックして開きます。

▲ 🤮 📃 🗢 server01@backup ファイル ホーム 共有 表示	p01_d00_00001 ₹					□ × ○
← → ↑ 💽 « 192.168.7	0.30 > disk > serv	er01@backup01_d00_0	0001 > 🗸	ට ser	ver01@backup01_c	o,0000_00
 ※ クイック アクセス ※ デスクトップ ※ ダウンロード ※ ダウンロード ※ ドキュメント ※ ビクチャ ※ ビグオ 》 ミュージック ④ OneDrive ※ PC ※ ネットワーク 	y システルで予約答表 Disk D Volume 1	更新日時	種類		91X	
< 2個の頂日 1個の頂日を避知						

5. 復元したいファイル/フォルダーを右クリックしてから[コピー]を選択します。

- = - 🛧 🛸 -	« disk »	server01@backup01_c	100_00001 > Disk 0 Volume 1 >	5 V	Disk 0 Volume 1の検索	Q
* ワイック アクセス	名	4前	更新日時	種類	サイズ	
📃 デスクトップ	*	\$Recycle.Bin	2016-01-08 06:00:05	77	ァイル フォルダー	
↓ ダウンロード	*	BOOT	2016-01-08 07:18:44	77	アイル フォルダー	
◎ ドキュメント	+	Documents and Set	. 2015-07-10 12:21:38	77	ァイル フォルダー	
□ ピカチャ		PerfLogs	2016-01-08 06:00:05	77	アイル フォルター	
	~	Program Files	2016-01-08 06:00:05	77	ァイル フォルダー	
		Program Files (x86)	2016-01-08 06:00:06	77	アイル フォルダー	
♪ ミュージック		ProgramData	2016-01-08 06:00:06	71	ァイル フォルダー	
ConeDrive		Recovery	2016-01-08 06:11:44	77	アイル・フォルダー	
2.2		System Volume Info	. 2016-01-08 06:06:35	77	ァイル フォルダー	
PC PC		Users	2016-01-08 06:00:06	77	アイル フォルダー	
→ ネットワーク		Windows	2016-01-08 06:00:06	77	ァイル フォルダー	
		フォルダー 開く(の)		ול	アイル フォルター	
		bootme #(U)			ファイル	386.00
	L	BOOTN RUN	ハノトリで開く(ヒ)		ファイル	1.0
	10	swapfil 9199	アクセスにとう留め	ŝ	リステム ファイル	256.00
		29-1	画面にビン留のする			
		⊐ピ-(C)			

6. 復元したい場所(デスクトップ等)で右クリック→[貼り付け]を選択して、コピーしたファイル/フォルダーを 復元します。

表示(V)	>	
並べ替え(O) 最新の情報に更新(E)	>	
貼り付け(P) ショートカットの貼り付け(S) 元に戻す - 名前の変更(U)	Ctrl+Z	
新規作成(X)	>	
💷 ディスプレイ設定(D) 🚅 個人設定(R)		

以上で復元の操作は完了です。

システムリカバリーの実行

ActiveImage Protector の製品メディアを使用して、システムリカバリーを行います。

- **注意**:システムのリカバリーを行うと、ローカルに存在するデータがすべて削除されますので、 十分に注意してから実行してください。
- ブートメディアをセットして、マシンをメディアからブートします。
 起動環境の起動が完了するまで、しばらく待ちます。
- 2. 言語選択が表示されますので[Select Language]→[日本語]を選択してから[OK]をクリックしてください。

0+4		-
日本語		-
	ок	
L. L.		4

3. ActiveImage Protector のコンソールが起動します。

IP アドレスの設定を行うため、[ユーティリティ]→[ネットワーク設定]をクリックします。

操作(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) ユーティリティ(し	U) ヘルプ(<u>H</u>)	
🛄 Boot-Environment		
ダッシュボード	ユーティリティ	
🟥 バックアップ		
📩 復元	<u>*>+7-28z</u>	マウント(ネットワーク)
🗛 イメージ管理 🔉	マウント(ローカル)	ターミナルを開く
* 		
🕠 ネットワーク設定		
📷 マウント(ネットワーク)		表示設定
📑 マウント (ローカル)		
🔤 ターミナルを開く		
エクスプローラーを開く	AIP CLI を起動	
🔜 表示設定		
💽 AIP CLI を起動		

4. [以下の IP アドレスを使用する]をクリックしてから[IP アドレス]と[サブネットマスク]を入力します。 ここでは例として、IP アドレスに「192.168.70.31」、サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力 してから[適用]をクリックします。

操作(<u>O)表示(V)</u> ユーティリティ(し) ヘルプ(<u>H</u>)	
Boot-Environment		
ダッシュボード	ネットワーク設定	
<i> バックアップ</i>	現在のNIC: eth0 ▼ 現 ◎ IP アドレスを自動的に取得する(DHCPを使用)	在の設定
🚵 復元	 ・ 以下の IP アドレスを使用する: IP アドレス: 192.168.70.31 	
🕂 イメージ管理 📏	サブネットマスク: 255.255.255.0	
* ユーティリティ		
🐟 ネットワーク設定		
🗾 マウント(ネットワーク)		
🥅 マウント(ローカル)		
🔤 ターミナルを開く		
エクスプローラーを開く		
🔜 表示設定		
🔄 AIP CLI を起動		
🔝 ローカル ホスト 🌮 🍋 «	道用 [1]	<u> 277</u>

5. ネットワーク設定の確認が求められますので、[OK]をクリックします。



6. [マウント(ネットワーク)]をクリックします。

🔛 Boot-Environment		
ダッシュボード	ネットワーク設定	
<i>isyopy</i>	現在のNIC: eth0 ▼	現在の設定
📩 復元	 ドアドレスを目動回いながす 9 (UFU) でを(FH) 以下の IP アドレスを使用する: ドアドレス: 192.168.70.31 	
🗛 イメージ管理 🔈	サブネットマスク: 255.255.255.0	
* ユーティリティ		
🤍 ネットワーク設定		
マウント(ネットワーク)		
🧰 ターミナルを開く		
エクスプローラーを開く		
🔜 表示設定		
🔄 AIP CLI を起動		

- 7. イメージファイルの保存先をマウントします。ここでは例として、下記の設定で保存先をマウントします。
 - ・ネットワーク上のコンピューター:BACKUP-SV
 - ・IPアドレス:192.168.70.30
 - ・共有フォルダー:disk
 - ・ユーザー名:aip
 - ・パスワード:(設定されているパスワード)

[BACKUP-SV(192.168.70.30)]をダブルクリックします。

保存先のコンピューターが表示されない場合は[コンピューターリストの更新]をクリックしてください。

操作(O) 表示(V) ユーティリティ(D) ~727(<u>H</u>)		
ダッシュボード	ネットワーク共有フォルダーのマウント		
<u></u> パックアップ	ネットワーク上のコンピューターと共有フォルダー		
📩 復元			
🗛 イメージ管理 👂			
🍫 ユーティリティ			
🔩 ネットワーク設定			
マウント(ネットワーク)			
🧱 マウント(ローカル)			
🧰 ターミナルを開く			
エクスプローラーを開く			
🔜 表示設定			
🔤 AIP CLI を起動			
	コンピューターリストの更新) (IP 7%	レスを指定して追加
	コンピューターをダブルクリックすると、共有フォルダーを参照できます(ユーザー認証が必要です)。	
	選択中の UNC パス:		
🗽 ローカル ホスト 🏾 🕈 🖪 «		1	マウント済みリスト

8. [ユーザー名を入力してください:]に、保存先にアクセス可能なユーザー名を入力してから[OK]を クリックします。ここでは例として、「aip」と入力します。



9. 続けて[パスワードを入力してください:]に、ユーザー名に対するパスワードを入力してから[OK]を クリックします。



10. コンピューターの左側にある[+]マークをクリックして、共有フォルダーを展開します。

操作(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) ユーティリティ(<u>()</u> ヘルプ(H)
Boot-Environment	
ダッシュボード	ネットワーク共有フォルダーのマウント
<i>論</i> バックアップ	ネットワーク上のコンピューターと共有フォルダー
💒 復元	
🗛 イメージ管理 🔉	
🍇 ユーティリティ	
🜏 ネットワーク設定	
🧾 マウント(ネットワーク)	
🥅 マウント(ローカル)	
🧰 ターミナルを開く	
エクスプローラーを開く	
🔜 表示設定	
🔄 AIP CLI を起動	

11. 共有フォルダー(ここでは[disk])を選択してから[マウント]をクリックします。

ダッシュボード ネットワーク共有フォルダーのマウント メックアップ ネットワーク上のコンピューターと共有フォルダー シージ管理 ● ・ コーティリティ	
ダッシュボード メットワーク共有フォルダーのマウクト ネットワーク上のコンビューターと共有フォルダー マム な元 イメージ管理 ユーティリティ	
 ▲ パックアップ ▲ クリクーク上のコンピューターと共有フォルダー ▲ みりワーク上のコンピューターと共有フォルダー ▲ BACKUP-SV (192.168.70.30) ▲ Bac	
 ▲ ACKUP-SV (192.168.70.30) ▲ 復元 ▲ Ackup-SV (192.168.70.30) ▲ Remote Admin ▲ Default share ▲ Default share 	
は な元 な元 な元 な な な な な な な た し た し た な は よ な た し た の は よ な た し た の は よ な た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の で の し た の で の の の で の で の で の で の の の で の の で の の の で の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	
・ ・<	
All イメージ管理 > Count share	
*** ユーティリティ	
· ·	
AIP CIIを記動	
コンピューター リストの更新	IP アドレスを指定して追加
コンピューターをダブルクリックすると、共有フォルダーを参照できます(ユーザー認証が必要です)	
選択中の UNC パス: //192.168.70.30/disk	
🛃 ローカル ホスト 🌱 🔲	マウント演みリスト

12. [現在マウントしているネットワーク共有フォルダー]の一覧に、マウントポイントが作成されていることを 確認します。

操作(<u>O)</u> 表示(<u>V</u>)ユーティリティ(L	」、 ヘルプ(<u>H</u>)
1. Boot-Environment	
ダッシュボード	ネットワーク共有フォルダーのマウント
A Bub Tout	現在マウントしているネットワーク共有フォルダー
	◎ 🕝 //192.168.70.30/disk (マウント ポイント */mnt/NetVolume_192.168.70.30_disk*)
📩 復元	
🗛 イメージ管理 🔉	
* ユーティリティ	
🔩 ネットワーク設定	
📑 マウント(ネットワーク)	
🧰 マウント (ローカル)	
🧧 ターミナルを開く	
エクスプローラーを開く	
🔜 表示設定	
AIP CLI を起動	

13. [復元]→[復元するイメージの選択]をクリックします。

操作(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) ユーティリティ(L	<u>」) ヘルプ(H)</u>			
1 Boot-Environment				
ダッシュボード	イメージの復元			
📫 バックアップ 🔉	1 イメージの選択	2 復元設定	3	確認
💒 復元	復元元イメージの選択:			
\Lambda イメージ管理 🕨 🗲	対象イメージ1 復元するイメージの選択			
* ユーティリティ >				
	選択したイメージ内のディスク マップ:			
🛄 ローカル ホスト 🋛 🚺			次へ>	キャンセル

. マウントしたフォルダー(ここでは「NetVolume_192.168.70.30_disk」)を開いて、イメージファイルを選択してから[**開く**]をクリックします。

D:						
📖 Local Disk (C:)	名前	重新日時	イメージ タイプ	バージョン	サイズ	
🥌 NetVolume_192.168.70.30 - (例 ネットワーク	_disk ···· 🖟 server0	1··· 2016/01/08···	フル (ベース)	4.6.0.2792	5.5 GB	
ファイル名:	server01@backup01 ActiveImage Protect	I_d00_00001.aiv or イメージ ファイル(*.aiv	*.aix *.aii)	- M<	<u>+++></u>	セル

15. [選択したイメージ内のディスクマップ:]の[ディスク0]のチェックボックスをオンにしてから、 [次へ]をクリックします。

操作(O) 表示(V) ユーティリティ(L	リ ヘルプ(<u>H</u>)		
🗽 Boot-Environment			
🤦 ダッシュボード	イメージの復元		
📫 バックアップ 🔉	1 イメージの選択	2 復元設定	3 確認
💒 復元	復元元イメージの選択:		
🗛 イメージ管理 📏	対象イメージ 1 <u>server01@backup01_d00_0</u> <u>イメージ ファイルを追加</u>	0001.aiv	削除
* ユーティリティ >			
	違択したイメージ内のディスクマップ: アイスクロ ページック (MBR) セ 使用がた 1.6 GB プリュームは (Lanverd) ● た オリュームは (Lanverd) ● た オリ	ackup01_d00_0000 337 CB MTT3	(, ₹ (3 ,3° 0, #()3-4.2)
1 ローカル ホスト 🕴 🖪			次へ> キャンセル

16. [復元アイテム:]の[ディスク0]を[復元設定:]へドラッグアンドドロップします。

ダッシュボード	1メーンの復元		
バックアップ	1 イメージの選択	2 復元設定	3 確認
復元	復元アイテム: 復元するディスク、またはボリュームをト	ラッグ アンド ドロップして復元先を指定してください	
イメージ管理	ディスク0 ペーシック (MBR)		
ユーティリティ 🔉	使用済み: 1.6 GB 39.7 GB NTFS	0_00001.aiv, テイスク:0, ボリューム:2)	
	F1270		
	ペーシック (MB_) 40.0 GB 使用済み: 1.6 GB 39 7 GB NTES		
	復元設定: 5	D.	タスク終了後の進加処理 システムの再起動
	復元設定:) /dev/sda 超点(MBB) 400 GB 400	.	タスク終了後の進加処理 システムの再起動
	復元設定:)) / dav/sda Basic (MBR) 40 0 68 使用済み: 9.5 GB		タスク終了後の追加処理 システムの再起動
	復元設定:) /dw/sda eag(r(MBR) ag 0 (SB 使用质子: 9.5 GB		ウスク終了後の途加処理 システムの再起動
	復元設定:) /dev/sda Basic (MBR) 40.0 G8 使用病分: 9.5 GB		タスク終了後の漁加処理 システムの再起動
	復元設定:) /dav/sda Basic (MSR) 使用消苏: 9.5 GB		ウスク終了後の進加処理 システムの再起動
	復元設定: の /day/sda Bagio (MBB) 400 GB 使用項か: 9.5 GB		タスク終了後の進加処理 システムの再起動

17. 復元先の消去について確認が求められます。問題が無ければ[OK]をクリックします。



18. [次へ]をクリックします。



19. 確認が表示されます。復元の設定に問題が無ければ[完了]をクリックします。

操作(O) 表示(V) ユーティリ:	ティ(<u>U)</u> ヘルプ(<u>H</u>)		
N Boot-Environment	イメージの復一		
ダッシュボード	コメージの復元		
🟥 バックアップ 🔹 🕻	1 イメージの選択	2 復元設定	3 確認
🛃 復元	🛃 復元後の状態:		
🗛 イメージ管理 📏	ディスク0 (イメ・・・ ペーシック (MBR)		
* ユーティリティ	40.0 GB 使用済み: 1.6 GB ★ 1.6 GB	:kup01_d00_00001 aiv, ディスク:0, ホリューム:2)	
	TT: SIT		•
	復元元:		
	ボリュームの自動拡大:		
	ボリューム設定: MBR: 第一トラックのコピー:		
	ディスク書名のコピー: ドライブレターの自動割り当て: 復元時のボリュームサイズ:		
	タスク終了後の追加処理: No		
		T 47.4-1	
コーカル ホスト		<u> </u>	元」

20. 復元のタスクが実行されます。



21. 復元のタスクの進捗が 100%になったら復元は完了です。

操作(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) ユーティリティ(<u>U</u>) ヘルプ(<u>H</u>)				
Network Boot-Environment					ダッシュボード
ダッシュボード	ダッシュボード				- 🔊 最新の情報に更新
A バックアップ >	D 929				
	ステータス タスク	開始時刻	進捗(%)		
💒 復元	♥ 完了 復元	2016/01/06 07:23:00	100.0 %		
🗛 イメージ管理 🗦	🕒 タスク ログ				
	■ ディスク情報			*	
	名前	ファイル システム ポリューム容量	使用済み容量 関連デ	イスク	
	 ☐ /dev/sda ☐ /dev/sda1(𝒫𝔅¬¬>¬>¬>) ☐ /dev/sda2(𝒫𝔅¬¬>¬>>) ☐ /dev/sda2(𝒫𝔅¬¬>¬>) ☐ /dev/sda2(𝒫𝔅¬¬¬>>) ☐ /dev/sda2(𝒫𝔅¬¬¬>>) ☐ /dev/sda2(𝒫𝔅¬¬¬>>) ☐ /dev/sda2(𝒫𝔅¬¬¬>>) ☐ /dev/sda2(𝒫𝔅¬¬¬¬>>) ☐ /dev/sda2(𝒫𝔅¬¬¬¬>) ☐ /dev/sda2(𝒫𝔅¬¬¬¬¬>) ☐ /dev/sda2(𝒫𝔅¬¬¬¬¬¬¬	NTFS 350.0 MB NTFS 39.7 GB	/dev/s /dev/s	da da	
🗽 ローカル ホスト 🕴 🗖	1 プライマリ				

22. [操作]→[終了]→[シャットダウン]をクリックして起動環境を終了します。

 (東元(<u>R</u>) (オメージ管理(l) 	ダッシュボード				シリンユホート
🗊 イメージのマウント(<u>M</u>)	D 920				*
終了(三) 🕨 🕨	シャットダウン(5) タスク	開始時刻	進捗(%)		
🕍 復元	<u>システム</u> 再起動(<u>K</u>) 後元	2016/01/06 07:23:00	0 100.0 % 🗲		-
▲ イメージ管理 >	 タスクログ 				-
* ユーティリティ >	冒 ディスク情報			*	
	Aus Aus	NTFS 350.0 MB NTFS 39.7 GB	LV = PV	/dev/sda /dev/sda	

マシンのシャットダウンが完了したら、ブートメディアを取り出します。 再度マシンの電源を ON にして Windows が正常起動するかを確認します。

以上で復元の作業は完了です。

APPENDIX

ActiveImage Protector 参考情報

ネットジャパンの Web サイト

製品情報の他、各種資料やサポート情報、アップデートなど、総合的にご案内しています。

https://www.netjapan.com/jp

ActiveImage Protector FAQ

サポート情報のデータベースです。

https://kb.netjapan.com/